

よりよい春江中学校をめざして（令和4年度 年度末評価）

私たちは、今を一生懸命に生きる子どもたちが、一日一日成長してくれることを願っています。子どもたちの成長は、春江中学校という集団ならではの取組の中で実現していくものだと考えています。今年度の教育活動の取組について、アンケート結果をもとに振り返ります。

校訓「賢く 正しく 逞しく」

【めざす生徒の姿】

- 学習にも部活動にも意欲的に取り組み、自らを心身ともに高めようとする生徒
- 人としての正しい在り方を考え、正しく判断し、信念を持って行動できる生徒
- お互いのよさを認め合い、高め合おうとする、誠実さや向上心を持った生徒

【重点項目】

- **学力向上の推進** ～ICTを活用した主体的・対話的で深い学びへの授業改善～
数値目標 ●「授業がよくわかる」と回答する生徒→50%以上
1年生→32.4% 2年生→38.3% 3年生→42.5%
- **魅力ある学校づくりの推進** ～居場所づくり・不登校対策への取組強化～
数値目標 ●「学校が楽しい」と回答する生徒→65%以上
1年生→63.1% 2年生→66.1% 3年生→64.9%
- **自主的・主体的活動の支援** ～生徒主役の活動を重視した自己実現を目指す取組の充実～
数値目標 ●「みんなで何かをするのは楽しい」と回答する生徒→75%以上
1年生→73.0% 2年生→71.7% 3年生→77.5%

【日々の教育活動の土台となる理念】

「自己ベストの更新・・・好奇心を持って挑戦し、自分を成長させる力の育成」

子どもたちは様々な教育活動の中で素敵な笑顔や輝きを見せてくれました！

互いに認め合い協力し合う学校行事



目標を持って強い心身を育む部活動



ICT機器を利用した授業（社会）



修学旅行

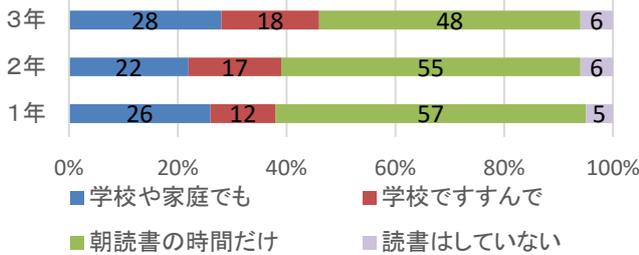


学 習

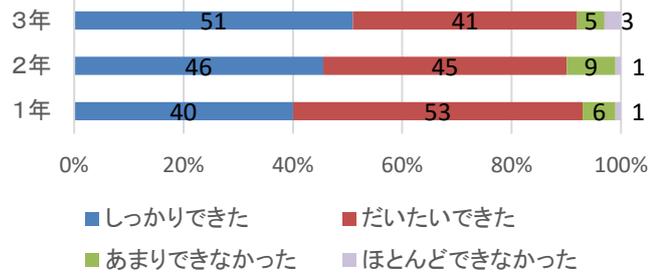
○ ICTを活用して、「わかる・できる」が実感できる授業をデザインする。

<生徒の姿①>

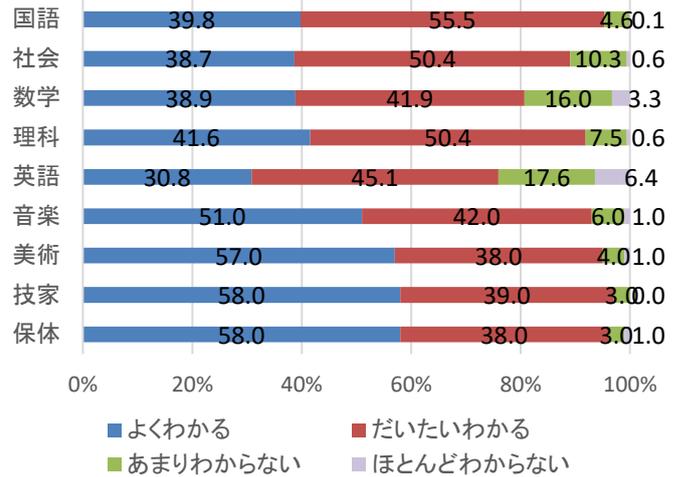
Q 読書をしていますか。



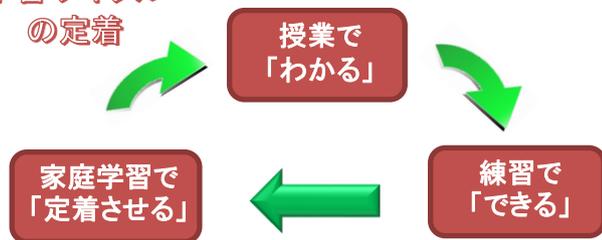
Q あなたは、学校の課題（宿題）を期日までに提出できましたか。



Q 授業がわかりますか。



学習サイクル の定着



<現状と課題>

読書については、朝読書の時間だけという生徒の多さが目立ちます。家庭でも、読書時間よりも通信機器を使用している時間が多いようです。

家庭学習にしっかりと取り組んでいるという意識の生徒が90%を超えています。これは学習サイクルの一翼である「定着させる」ことに大いに役立ちます。一方、教科ごとに「わかる」度合いをみますと、積み上げ型の教科で課題意識を持つ生徒が多いようです。数学で3年前期に習熟度別授業を実施したり、選択講座制学習会を開催したりして、自分の進捗や目標に合わせた授業に参加して理解度を深め、克服していけるよう取り組みを行っていました。

<今後の取組>

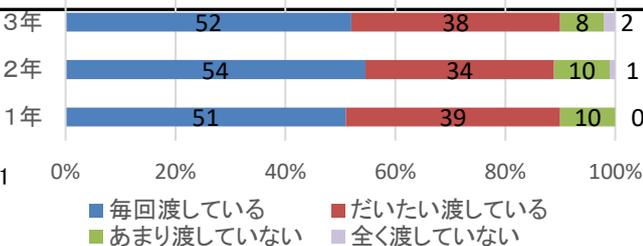
学校では、ICT機器の効果的活用や評価の改善等の視点で教員の授業研究を行い、引き続き「わかる・できる」授業をデザインしていきます。家庭では、読書時間が十分に確保されていないようです。背景として通信機器の普及なども考えられます。その利用においては、時間の制限など家庭でのルールを決めて、守っていくことが大切です。これからも、授業で「わかる」、練習により「できる」、家庭学習により「定着させる」サイクルを重視して、学力の向上をはかります。そして、好奇心をもって学習に臨めるよう、意欲を高めていきたいと思います。

開かれた学校

○ 様々な便り、ホームページ、学校開放等で情報を発信し、家庭・地域との連携を図る。

<生徒の姿>②

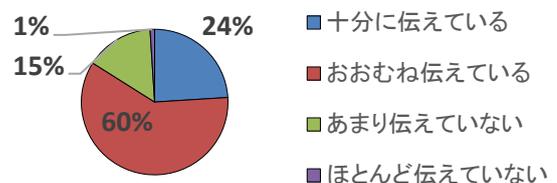
Q 学校からの便りを家族にわたしていますか。



<現状と課題>

さまざまな便りや文書を発行し、情報発信をしています。生徒を通して配布していますので、確認をしていただくとありがたいです。ホームページでは「更新を遅らせないでほしい」などのご意見をいただきました。

Q 学校は保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えてありますか。保護者アンケートより



<今後の取組>

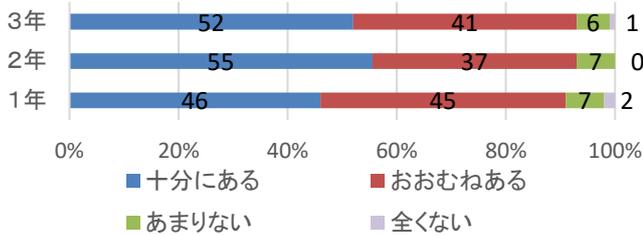
教育活動や学校の様子、進路に関する情報など、今後も積極的に便り、ホームページ等でお伝えしていきたいと思います。学校開放に関しても、行事等の機会を捉え、学校の様子を直接的、間接的に見ていただけるようにしていきたいと思います。

生活

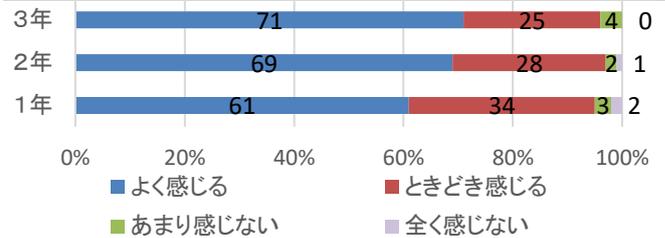
- 生徒同士がつながりあう集団、自らの居場所が実感できる集団を目指す。
- 『春中スマホット宣言』や情報モラル教育などを通して、規則正しい生活や情報モラルについて考え、実行できる生徒を育てる。

<生徒の姿③>

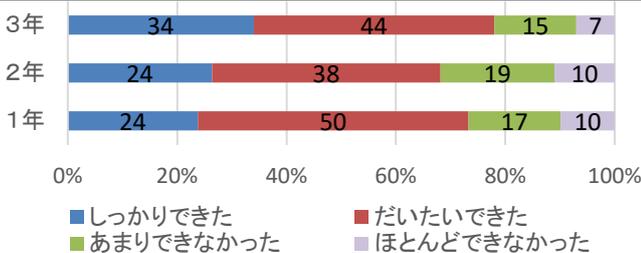
Q 学校には、あなたが主体的に活動できる場がありますか。



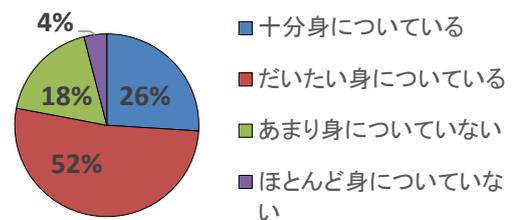
Q あなたは、学級や部活動などで友達とのつながりや連帯感を感じますか。



Q インターネットや通信機器を利用する際に、「春中スマホット宣言」を意識した取り組みができましたか。



Q お子さんはインターネットや通信機器を利用するときに、相手を思いやる気持ちや使用するマナーが身についていますか。



春中スマホット宣言



～H 春中生を O 思いやって T 大切に～



- 一、春中生としてやるべきことを先にする(勉強・手洗い)
- 一、夜10時以降は使用しない
- 一、夜9時以降は友達と連絡を取らない
- 一、一日の使用時間は平日1時間まで、休日または休業日は3時間まで
- 一、使用している、していないに関わらず相手を思いやる
- 一、人が写っている写真はネットにのせない
- 一、各家庭のルール

<現状と課題>

90%以上の生徒が、自分には居場所があると感じています。また、多くの生徒が学級や部活動などで友達とのつながりや連帯感を感じています。ネット等利用については使用時間やマナーの面では、昨年度より幾分減少したものの、情報モラルに不安を感じている保護者の方が少なくないようです。

<今後の取組>

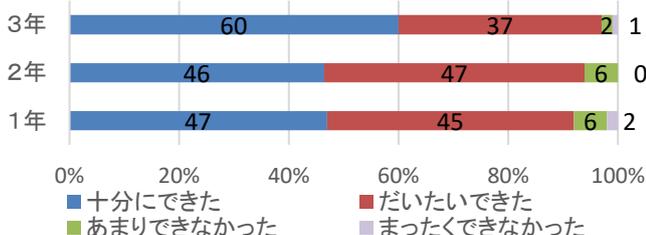
GIGAスクール事業で導入されたタブレットを使い、通信機器を学習等に有効に活用できる生徒を育成します。グループ学習等での意見交換ツール、明日の連絡の入力など、学校生活で活用を進めていきます。また、情報モラル教育も行っていきます。

健康

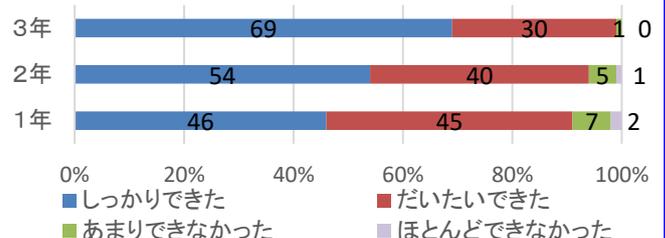
- 新型コロナウイルスの脅威と感染防止について意識を高め、校内感染防止に努める。
- 「黙働清掃」を通して、我慢・気づき・感謝の心を育てる。

<生徒の姿④>

Q 毎日の検温やマスクの着用、手洗い・消毒、距離を保った会話などを意識して行動できましたか。



Q 清掃について、よりきれいになるように黙働清掃に取り組みましたか。



<現状と課題>

感染予防のため手洗い・消毒、マスクの着用や教室の換気を徹底しています。黙働清掃では、しっかり取り組んでいると感じている生徒が多いです。昨年度から清掃を実施する曜日を月・水・金と週3日にしましたが、その分しっかり集中してできた生徒が多かったようです。

<今後の取組>

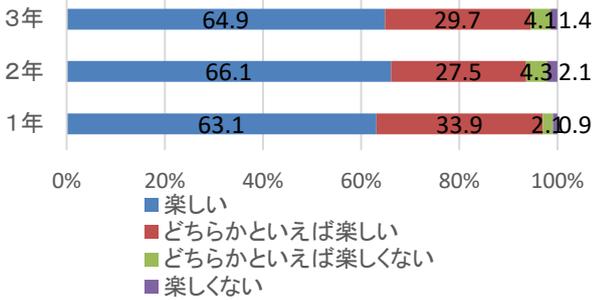
生徒が安全に生活できる環境を維持するためにも、今後も状況に応じた指導を継続していきます。また、黙働清掃については、「自分で考えて動ける生徒」を目指すために、自己チェック等で評価するなど、工夫した活動をしていきます。

心

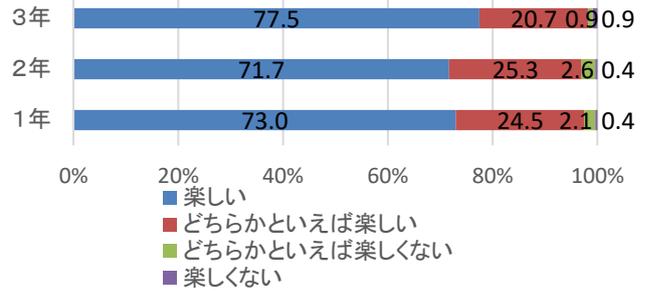
○生徒が主体的に活動する場、安心して意見を言い合える環境をつくる。

<生徒の姿⑤>

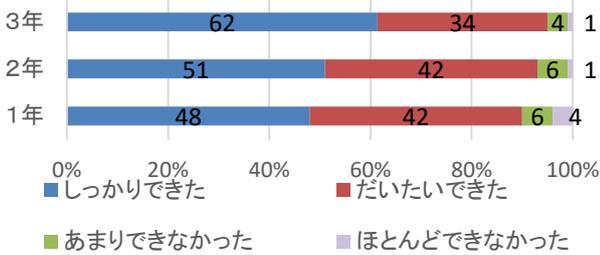
Q 学校は、楽しいですか。



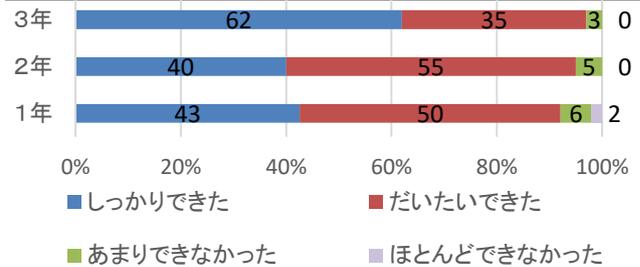
Q みんなで、何かをするのは楽しいですか。



Q 心の窓や教育相談を通して、先生に自分の思いや考えを伝え、聞いてもらうことができましたか。



Q 「今週の目標」や「今月の春中しぐさ」などのマナーを守り、相手の気持ちを理解して接することができましたか。



<現状と課題>

「学校が楽しい」と回答する生徒の数値目標の65%は、1. 3年生ではわずかに達成できませんでした。「みんなで何かをするのは楽しい」と回答する生徒の数値は70%以上ありますが、75%以上の目標は、1. 2年生ではわずかに達成できませんでした。しかし、どちらも昨年度より数値は上がっていることは、取り組みの成果だったと言えます。

<今後の取組>

生徒が安心して過ごせる居場所づくりをめざし、教育相談の時間を充実するなど学級経営の工夫を行っていききたいと思います。また、保護者と教員間の情報交換・情報共有が重要ですので、学校側からの情報発信に努めていきます。また、新型コロナウイルス等の感染症対策をしつつ、生徒が主体的に活動できる場を適切に設けて、生徒同士の絆づくりを目指します。そして、生徒が「楽しい」とさらに感じる学校にしていきたいと考えています。

進路

○地域の人との関わりを密にし、自ら企画して行動する体験的学習を充実する。

1年職業別選択講座



2年職場見学と進路学習



3年高校説明会



<現状と課題>

1年生で「職業別選択講座」、2年生で「SDGs学習と進路学習」、3年生で「卒業後の進路・進学先の選択」というように、学年が進むにつれて、徐々に具体的な目標が意識できるよう継続的な進路指導を行っています。また、ご家庭においても家族で積極的に進路について会話をされている様子が伺えます。今年度は地域人材とのふれあい活動を少しずつ再開し、その経験にふれる機会ができました。学校教育の中では、早くから具体的に決めるのではなく、「視野を広げて将来を考える」という視点で進路教育を行っています。

<今後の取組>

今後も段階を踏みながら進路指導を進めていきます。特に体験活動は、学校だけでは限界がありますので、今後ともご家庭・地域・企業などのご協力を得ながら、生徒がいろいろな経験・体験をすることで、視野を広めることができるようになっていきたいと思います。

生徒、保護者、地域、学校が一つになってこそ、よりよい春江中学校が実現します。今後とも、生徒たちの学校生活の様子や本校の教育活動などHPでもお知らせしています。是非、ご覧ください。 <http://www.harue-j.ed.jp>